

平成 26 年 度 教 育 委 員 会 予 算

(1) 一 般 会 計

(単位 千円)

区 分	予 算 額 (A)	左 の 財 源 内 訳										25 年度 当初予算額 (B)	前年度対比				
		分担金及 負担金	使用料及 手数料	国庫支出金	財産収入	寄 附 金	繰 入 金	繰 越 金	諸 収 入	県 債	一般財源		(A)-(B)	% (A)/(B)			
教育委員会	人件費	100,160,797		216,910	18,156,015							59,740		81,728,132	102,753,128	△ 2,592,331	97.5
	① 事業費	12,087,688		127,007	1,060,653	101,062		819,602				570,733	1,904,000	7,504,631	11,452,608	635,080	105.5
	計	112,248,485		343,917	19,216,668	101,062		819,602				630,473	1,904,000	89,232,763	114,205,736	△ 1,957,251	98.3
県 計 ②	人件費	152,065,860		861,267	18,658,014			30,910				73,654		132,442,015	154,160,823	△ 2,094,963	98.6
	事業費	439,754,140	4,107,850	2,699,027	68,808,539	1,010,764	18,900	23,663,016				52,853,253	39,755,000	246,837,791	427,565,177	12,188,963	102.9
	計	591,820,000	4,107,850	3,560,294	87,466,553	1,010,764	18,900	23,693,926				52,926,907	39,755,000	379,279,806	581,726,000	10,094,000	101.7

県予算額に占める 教育委員会 予算額の構成比 ①/②

年 度	区 分	計 (%)	事業費 (%)	人件費 (%)
26 年度	当 初 予 算 額	19.0	2.7	65.9
25 年度	当 初 予 算 額	19.6	2.7	66.7

平成26年度 教育委員会当初予算（一般会計）の概要

I. 予算のポイント

1 教育の再生、未来を拓く人づくりと青少年の健全育成

【基本方針】

小学校では、全国学力・学習状況調査において授業改善等の結果、着実に学力の向上が図られている一方、中学校では、全国順位が依然として低いことから、中学校の学力向上に向けた取組を推進します。また、高校では難関大学合格者数は増加傾向にあるものの、目標値に達していないことから教員の指導力強化を図ります。体力向上についても改善傾向にあるものの、全国平均には達していないことから、運動の日常化・習慣化に向けた取組を実施します。

さらに、いじめ・不登校については、いじめの早期発見、早期対応のための組織的な取組の強化を図るとともに、小・中学校の不登校児童生徒の出現率が、全国ワースト5位となっていることから、不登校の未然防止や学校復帰への取組を推進します。

これらの取組を推進するため、県が策定した「芯の通った学校組織」推進プランに基づき、各学校ごとに掲げる目標の達成に向けた取組の一層の展開を図ります。

(1) 子どもの挑戦や自己実現を支える学校教育の推進

組織的に学力向上に取り組む市町村への支援や、教員による授業実践事例や問題例の共有など中学校の授業改善に向けた組織的な取組を推進します。

また、体力向上に向け全学校において、運動の日常化・習慣化のための目標を掲げた「一校一実践」の取組を推進します。

(2) いじめ・不登校対策の強化

いじめ解決支援チームやいじめ対策連絡協議会を効果的に運用するとともに、教職員のスキル向上等によるいじめ・不登校がない魅力ある学校づくりを推進します。また、不登校については、原因分析や防止対策など不登校対策プランを作成し、推進する市町村に対し不登校対策コーディネーターを配置するなどの支援を行います。

(3) 「芯の通った学校組織」の深化

学力・体力の向上やいじめ・不登校対策などの課題解決に向けて、組織的な取組や基盤となる学校運営体制の強化、指導主事や管理主事など改革のキーパーソンによる学校の運営支援の充実を図ります。

(4) 県民総ぐるみによる教育の推進

地域と連携した子どもの力の向上を図るため、豊後高田市の「学びの21世紀塾」など優良事例を参考とした「学びの教室」を拡充します。

2 芸術・文化の興隆とスポーツの振興

【基本方針】

県立美術館の開館に向けて、県内の芸術文化活動を活発化する取組を推進するとともに、文化財等を活用した郷土について学ぶ教育の充実を図ります。

また、平成27年度に国民体育大会の九州ブロック大会が本県で開催されることから、25年7月に北部九州4県で合同開催した全国高等学校総合体育大会の成功を生かした取組を推進します。

(1) 県民文化の創造

県立美術館開館に向けた企画展やコレクション展の開催準備を推進するとともに、県内全域の児童生徒に対する美術鑑賞の向上など、学校教育と連携した取組を実施します。

(2) 文化財・伝統文化の保存と活用

国の指定に向けた重要な文化財の保存計画策定、調査等の取組や、市町村による文化財を核とした観光ツアーの造成、情報発信の支援を行います。

(3) 県民スポーツの振興

国民体育大会10位台の定着に向けた県出身選手の競技力向上を図るとともに、国民体育大会九州ブロック大会の27年度大分開催に向け、選手などの受け入れ態勢の構築を図ります。

II. 事業体系（県政推進指針）

【安心・活力・発展の大分県づくりの推進】

3 発展 一人を育て、社会資本を整え、発展する大分県一

(1) 教育の再生、未来を拓く人づくりと青少年の健全育成

① 子どもの挑戦や自己実現を支える学校教育の推進

—	小学校1・2年30人学級編制実施事業	153,584
—	中学校1年30人学級編制実施事業	132,496
—	小学校学力向上対策支援事業	184,196
—	中学校学力向上対策支援事業	288,151
—	小学生国際交流活動推進事業	2,041
—	特 ふるさとの魅力発見・継承推進事業	3,649
—	特別支援学校就労支援事業	22,452
—	特別支援学校改革支援事業	1,373
—	新 多様な学びの場充実モデル実践事業	13,130
—	進学力パワーアップ事業	8,700
—	はつらつ大分人材育成事業	15,140
—	高校生キャリア教育ステップアップ事業	8,215
—	農林水産高校生チャレンジ支援事業	12,090
—	新 高校生福祉人材育成事業	1,346
—	学校図書館活用教育支援事業	26,933
—	特 放課後・土曜学習支援事業	86,841
—	子ども科学体験推進事業	14,921
—	新 小・中学校フッ化物洗口推進事業	2,051
—	大分っ子体力向上推進事業	24,092

② いじめ・不登校対策の強化

—	いじめ・不登校等未然防止対策事業	134,363
—	いじめ・不登校解決支援事業	125,526

③ 「芯の通った学校組織」の深化

—	特 「芯の通った学校組織」定着推進事業	2,516
---	---------------------	-------

④ 県民総ぐるみによる教育の推進

—	教育センター機能強化事業	1,067,006
—	新 公立高等学校等奨学金給付事業	70,163
—	県立学校施設整備事業	2,794,753
—	地域「協育力」向上支援事業	14,317

(2) 芸術・文化の興隆とスポーツの振興

① 県民文化の創造

—	まちなかアートギャラリー推進事業	5,782
---	------------------	-------

② 文化財・伝統文化の保存と活用

—	地域の文化財魅力度アップ事業	30,316
---	----------------	--------

③ 県民スポーツの振興

—	競技力向上対策事業	223,011
—	未来のアスリート発掘・育成事業	8,543
—	新 国民体育大会九州ブロック大会開催準備事業	691

(注) 事業名前の「特」はおおいた成長枠事業を、「新」は新規事業を示す。

平成26年度一般会計当初予算

(単位：千円)

事業名	平成26年度 当初予算額 平成25年度 当初予算額	当初予算の概要	所管課
1 特 「芯の通った学校組織」 定着推進事業	2,516 (0)	学力・体力の向上等、学校の組織的な解決力を強化するため、目標達成に向けて組織的に取り組む「芯の通った学校組織」を推進する。 ・学校・保護者・地域住民による調査・研究委員会の設置 ・主幹教諭等に対する研修	教育改革・企画課
2 教育センター機能強化事業	1,067,006 (156,306)	学力向上やいじめ・不登校対策など多様化する教育課題に対応するため、教育センターの研修体系を見直し、効果的な研修が行えるよう研修室等の整備を行うとともに、築後43年が経過し老朽化が著しい施設の大規模改修を行う。(27年3月竣工)	教育人事課
3 新 公立高等学校等奨学金給付事業	70,163 (0)	修学に意欲のある高校生等が、保護者の経済的理由によりその機会を奪われることのないよう、奨学金を給付する。 ・対象 市町村民税非課税世帯 第1子 年額 37,400円 第2子以降 年額 129,700円 生活保護受給世帯(修学旅行費相当分) 年額 32,300円	教育財務課
4 県立学校施設整備事業	2,794,753 (2,824,602)	高校再編プランに基づき施設整備を行うとともに、学校施設の長寿命化と学習環境の改善を図るため、大規模改造等を実施する。 ・高校再編プラン分 2校(別府・玖珠新設高校) ・大規模改造 12棟(大分工業高校など8校) ・非構造部材耐震対策(26年度完了)	教育財務課
5 小学校学力向上対策支援事業	184,196 (44,249)	客観的な数値目標を盛り込んだ推進計画を策定して学力向上に取り組む市町村に対し、習熟度別指導推進教員(18人)を配置する。 基礎・基本の定着だけでなく、活用力の理解度を把握するため、学力定着状況調査(小5)を実施する。	義務教育課
6 中学校学力向上対策支援事業	288,151 (290,469)	客観的な数値目標を盛り込んだ推進計画を策定して学力向上に取り組む市町村に対し、習熟度別指導推進教員(36人)を配置する。 ・学力定着状況調査(中2)を実施 【特】教員の指導力を高め、生徒の更なる学力向上を図るため、各教科部会毎に優良事例集を作成し、公開授業等を行う。	義務教育課
7 小学生国際交流活動推進事業	2,041 (2,041)	児童の外国文化への理解やコミュニケーション能力の向上を図るため留学生等との交流活動を行う。 ・大学キャンパス1日留学 15校 ・留学生等との交流会 15校 ・大分国際車いすマラソン外国人選手との交流会 7校 ・子ども国際交流キャンプ 5・6年生50人	義務教育課
8 特 ふるさとの魅力発見・継承推進事業	3,649 (0)	児童生徒が郷土の歴史や文化財、音楽、美術作品に直接触れ、郷土に対する誇りや愛着心を養うため、歴史遺産や美術作品の鑑賞機会等を提供する。 ・郷土の歴史遺産や史跡等のバス巡見 ・県内の芸術家等と共同作品の制作 など	義務教育課
9 いじめ・不登校等未然防止対策事業	134,363 (9,621)	【特】不登校の生徒への支援や未然防止に取り組むため、不登校対策プランを策定した市町村にコーディネーター(教員16人)を配置する。 【新】小中学校が連携し、仲間づくりなどの工夫を凝らした取組により魅力ある学校づくりを推進する。 児童生徒が自ら取り組む「いじめゼロ子どもサミット」を開催する。	生徒指導推進室
10 いじめ・不登校解決支援事業	125,526 (124,951)	生徒や保護者の悩み等に対応するため、専門的な知識・経験を有するスクールカウンセラー等を小・中・高等学校に配置する。 ・小学校配置 64校 ・中学校配置 128校(全校) ・高等学校配置 24校 心身危害を伴った対処困難事案等に対し、「いじめ解決支援チーム」を学校に派遣する。 (24時間全国統一相談ダイヤル 0570-078310)	生徒指導推進室
11 特別支援学校就労支援事業	22,452 (31,660)	特別支援学校生徒の一般就労を促進するため、職業教育を充実し、就職に向けた生徒の意識改革や企業からの評価向上を図るため、アドバイザーを配置する。 ・就労支援アドバイザー 6人 ・技能検定の実施	特別支援教育課
12 新 情緒障害児短期治療施設 附設校開設支援事業	65,394 (0)	情緒障害児短期治療施設に入所する児童生徒の学校教育を円滑に実施するため、施設敷地内に大分市が設置する小中学校分校の施設整備に助成する。 ・開校時期 平成27年4月(予定)	特別支援教育課 教育財務課

事業名	平成26年度 当初予算額 平成25年度 当初予算額	当初予算の概要	所管課
13 進学力パワーアップ事業	8,700 (6,152)	普通科高校の生徒・教員を対象に難関大学にも十分対応できる学力及び指導力の強化を図るため、意欲ある生徒を対象としたセミナーを実施するとともに、教員の教科指導力を強化するため、科目毎に入試問題や授業の研究等を行う。	高校教育課
14 はつらつ大分人材育成事業	15,140 (14,259)	グローバルな人材育成のため、海外留学を志す高校生に対し、事前研修や支援金の交付を行う。 【新】短期留学支援制度（10万円 20人） 長期留学支援制度（30万円 5人）	高校教育課
15 高校生キャリア教育ステップアップ事業	8,215 (8,399)	高校卒業後の進路希望に応じたキャリア教育を推進するため、社会人や先輩、地域社会に貢献する地元企業者などの講演会を各学校で開催するとともに、インターンシップなどを実施する。	高校教育課
16 農林水産高校生チャレンジ支援事業	12,090 (10,655)	地域の農林水産業を支える人材を育成するため、高校生が進路を見据えた学習や技術習得を進められるよう、学校農業クラブ活動の活性化及び人材育成のための実践的な実習の充実を図る。 ・全国大会最優秀校指導者による合同研修会 ・農業高校生による地元中学校への出前授業 【新】水産高校生への外部人材による技術指導 など	高校教育課
17 学校図書館活用教育支援事業	26,933 (46,992)	学力向上と豊かな心を育成するため、学校図書館のサポーター配置を計画的に進める市町村を支援し、28年度までに全小学校配置を促進する。 司書教諭や学校図書館サポーターの資質向上と学校図書館の活性化を図るため、専門的なノウハウを持つアドバイザーの派遣等を行う。	社会教育課
特 18 放課後・土曜学習支援事業	86,841 (0)	学力向上と豊かな心を育成するため、地域において放課後や土曜日を活用し、補充学習に重点を置きながら体験活動等にも取り組む市町村を支援する。 ・放課後チャレンジ教室（標準40日/年 155教室） 活動時間全体の5割は補充学習を実施 ・土曜教室（標準20日/年 155教室） 活動時間全体の3割は補充学習を実施	社会教育課
19 子ども科学体験推進事業	14,921 (14,755)	子どもたちの科学や技術への興味・関心を高めるため、小中学生が気軽に科学実験などを楽しめる常設の科学体験ルーム(0-Labo)を設置するとともに、公民館や放課後子ども教室等での出前講座を実施する。	社会教育課
20 女性による地域力向上支援事業	2,949 (549)	女性が地域で生き生きと活躍できるよう、地域婦人会の活動を周知するなど、次代を担う人材育成を支援する。 【特】女性活動実践フォーラムの開催（6市） ・リーダー研修の開催	社会教育課
21 おおいた学びの輪推進事業	7,992 (7,999)	生涯学習社会の形成に向け、ふるさと大分について学ぶ講座の開設など、学習機会を提供するとともに、福祉保健部等と連携し、地域づくりに参画する人材育成を支援する。	社会教育課
22 まちなかアートギャラリー推進事業	5,782 (5,783)	県立美術館開館に向けた機運醸成を図るため、まちなか支局を核に、商店街や県立芸術文化短期大学等と連携したイベントを年間を通じて開催する。 ・公募型アートイベント（絵画等展示、パフォーマンス）など	文化課
新 23 小・中学校フッ化物洗口推進事業	2,051 (0)	児童生徒の歯と口腔の健康づくりを推進するため、小中学校においてフッ化物洗口の普及啓発を行う。 ・郡市PTA連合会での保護者向け研修 ・普及啓発DVD作成 ※別途、歯科医師会によりフッ化物洗口の指導を実施(健康対策課)	体育保健課
24 大分っ子体力向上推進事業	24,092 (23,060)	児童生徒の体力向上を図るため、小学校の体育専科教員を県内各地域に配置する。（24人） 中学校においては、体育推進教員を指定し、域内の教職員の実技指導力の向上を図る。（16校）	体育保健課